

■ハンズオンセミナー

「新しい流産治療法の紹介—MVA(手動真空吸引法)って何?—」

第一回 4月22日(金)15:30-17:00

第二回 4月23日(土)15:30-17:00

第11会場(東京国際フォーラム, ガラス棟4階, G409)

ファシリテータ:名古屋市立大学産科婦人科 不育症研究センター
尾崎 康彦, 北折 珠央, 松川 泰, 森 亮介, 杉浦 真弓
共催: ヴォーパル・ウィメンズヘルス株式会社

【はじめに】

流産は妊娠の約15%に起こり、日常の産婦人科診療において多く遭遇する疾患です。流産や死産を繰り返して生児を得られない不育症患者では、原因や既往流産回数にもよるものの流産の頻度はさらに高くなります。流産をどう管理するかは原因検索や次回妊娠への意欲や動機づけにもつながることから、不育症診療における成功率や満足度を考えるうえできわめて重要であると考えます。

今回のハンズオンセミナーでは、欧米の流産治療で主流となってきたMVAを紹介します。昨年日本で認可されたばかりのMVAとはどのような術式なのか、どのような利点があるのか、その理論と実践を学ぶ場を提供します。さらに不育症を含む流産の診療においてMVAがどのような役割を果たすのかについて議論しましょう。

【内容】

- 1) 講義(ファシリテータ)
- 2) 動画供覧(ファシリテータ)
- 3) 骨盤モデルを用いた実技練習(参加者全員)
- 4) 総合討論(参加者全員)

【参加定員】

各回 25名(先着順)

【参加申込】

本セミナーは無料の事前登録制となります。事前登録は、3月上旬よりホームページ経由(www.vorpal.womenshealth.com):「学会・セミナー」を参照)で実施予定です。

*先着順のため定員に達した際はご容赦ください。できるだけ多くの施設にご参加いただきたいため、各施設からのお申込みはいずれの回もそれぞれ2名までとさせていただきます。

*本セミナーは参加者以外でも自由に見学することができます。